

水田たより 10月号

令和5年10月2日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

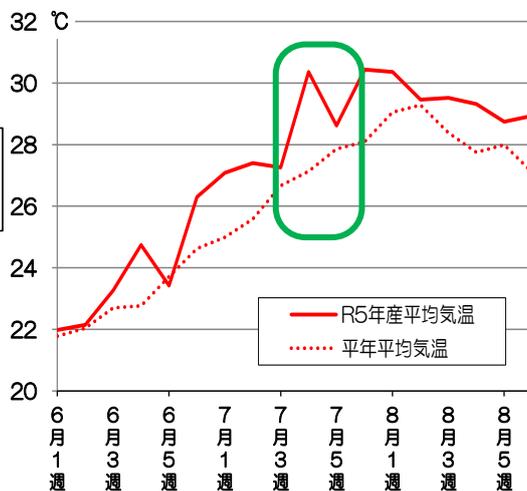
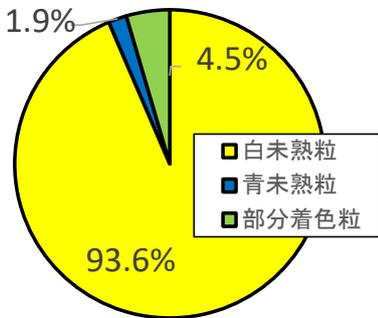
水稲 R5年産の作況 白未熟粒の発生

9月12日時点の検査状況は、コシヒカリで2等米比率が高くなっており、特に**白未熟粒の発生**が目立っています。一方で、広域でのカメムシ防除により斑点米の発生は減少しています。

令和5年産米 検査状況（桑名管内・9月12日時点）（単位：俵）

品種名	1等		2等		3等	
	数量	等級比率	数量	等級比率	数量	等級比率
あきたこまち	6,530	60.3%	4,076	37.7%	216	2.0%
なついろ	1,744	44.6%	1,742	44.5%	425	10.9%
コシヒカリ	10,689	37.2%	17,117	59.6%	919	3.2%

白未熟粒は、出穂後2週間の**気温が高いほど発生しやすくなります**。籾のデンプン蓄積能力または茎葉のデンプン供給能力が減退することが原因で、これらの能力維持には**窒素の供給が重要な働き**を担っていると考えられています。



令和5年産のコシヒカリ（基準田4月25日移植の場合）では、出穂期7月18日以降、高温が続き、白未熟粒が発生しやすい環境でした。

近年暑い夏が続いており、今後も白未熟粒が発生しやすい環境となることが懸念されます。

水稲 等級を上げる！白未熟粒対策

(1) ケイ酸資材の施用

稲がケイ酸を吸収すると葉が直立し受光態勢が改善され、光合成が盛んになるため、光合成産物の供給量が増加します。稲わらのすき込みによるケイ酸の供給だけでは稲の全吸収量には及ばず、**多くのほ場ではケイ酸が不足しています**。

◎ケイ酸資材の施用方法 ※詳細は資材のラベルを必ずご確認ください。

①基肥施用の場合 **作業可能なタイミングで！**

適期：稲刈り後～田植え前
 施用量：ケイ酸含量で15～20kg/10a程度

②追肥施用の場合 **最も吸収されるタイミング！**

適期：出穂40日前頃（中干し前後）
 施用量：ケイ酸含量で10kg/10a程度

(2) 作期に合った肥効調節型肥料（基肥一発肥料）の選択

溶出期間を考慮して肥料を選択し、後半の肥料切れを防ぎます。また、基肥一発肥料を使用しているほ場でも、幼穂形成期の葉色が薄い場合は出穂後の追肥（耐暑肥え）が有効です。

(3) 出穂後の水管理 ※水不足や水利関係に注意して行ってください。

出穂後は**間断灌水**を行い、新鮮な水を入れ根の活力を維持しましょう。

麦

令和5年産麦のふりかえり

○令和5年産麦について

今年は天候が良く、気温も高く推移したことに加え、基本技術の励行により、前年よりも単収が増加しました。

来年度産の麦もほ場準備や雑草防除を行い、更なる単収の増加を目指しましょう。

小麦単収(kg/10a)

品種	地域	R5年産※	R4年産
さとのそら他	桑名市・木曾岬町	351	328
あやひかり他	いなべ市・東員町	303	298

※R5年産は速報

麦

令和6年作に向けて

○雑草対策

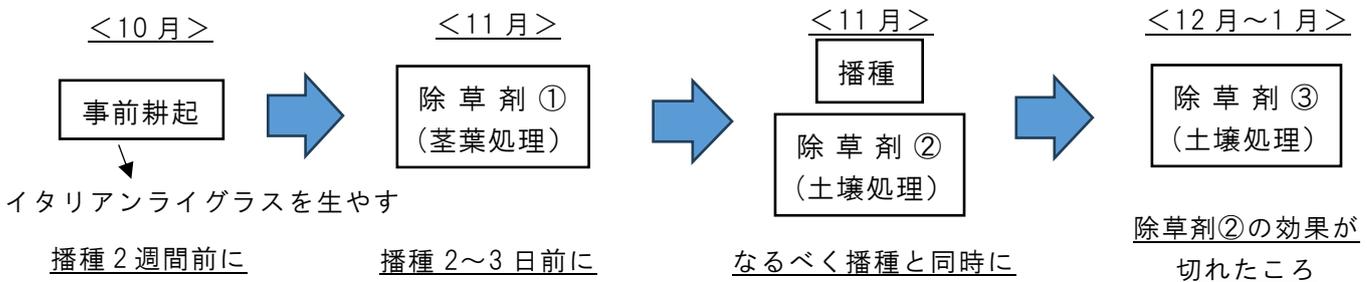
水田たより9月号で紹介した排水対策や土壌改良に加え、**雑草防除**も単収増加のために重要です。雑草が繁茂すると減収だけでなく、**麦が倒伏**したり、**収穫機に絡みつ**くことにもつながります。今回は特に問題になっているイタリアンライグラス（ネズミムギ）の防除について紹介します。

○イタリアンライグラスの特徴

- ・8月ごろから発生から始まり、小麦播種後から3月上旬まで増加する。その後緩慢になるが4月上旬まで発生が続く。
- ・麦収穫・耕起後も再生株が種子生産を行い、夏季の出芽個体も秋季までに開花・結実する。
- ・種子は50日程度の常時湛水条件で約90%死滅するが、間断湛水条件では死滅しない。
- ・夏季の湛水により種子を防除するには水稻作を2年程度継続する必要がある。
- ・近年グリホサート系除草剤が効きにくい個体が発生している。

○防除方法

イタリアンライグラスは麦の播種前から芽生えが始まるので、播種前から防除することが重要です。茎葉処理剤や土壌処理剤を組み合わせた体系防除により種子を減らしましょう。



大豆

生育状況とカメムシ防除について

今年は平年よりも気温が高く、昨年と比較して開花日がやや早くなりました。

今年のダイズカメムシはやや多と予想されます（三重県病害虫防除所 令和5年度病害虫発生予報5号より）。7月中下旬播種の場合、カメムシの防除は1回目が9月中下旬ごろ（開花20日後）、2回目が10月上旬ごろ（開花40日後）になります。2回目防除を行う場合は昨年よりも少し早めの防除を行いましょう。

7/15～9/10の気象概況

- ◇積算気温 2157.5℃(平年 2004.0℃)
- ◇積算降水量 322.0mm(平年 481.5mm)
- ◇積算日照時間 574.8時間(478.2時間)

＜今年の大豆生育基準田の生育状況＞（）内は昨年

地域	播種日	開花日
桑名	7月31日(8月1日)	9月6日(9月10日)
いなべ	7月17日(7月27日)	8月25日(9月5日)

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページで
ご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。

▷ [桑名普及](#) [検索](#)